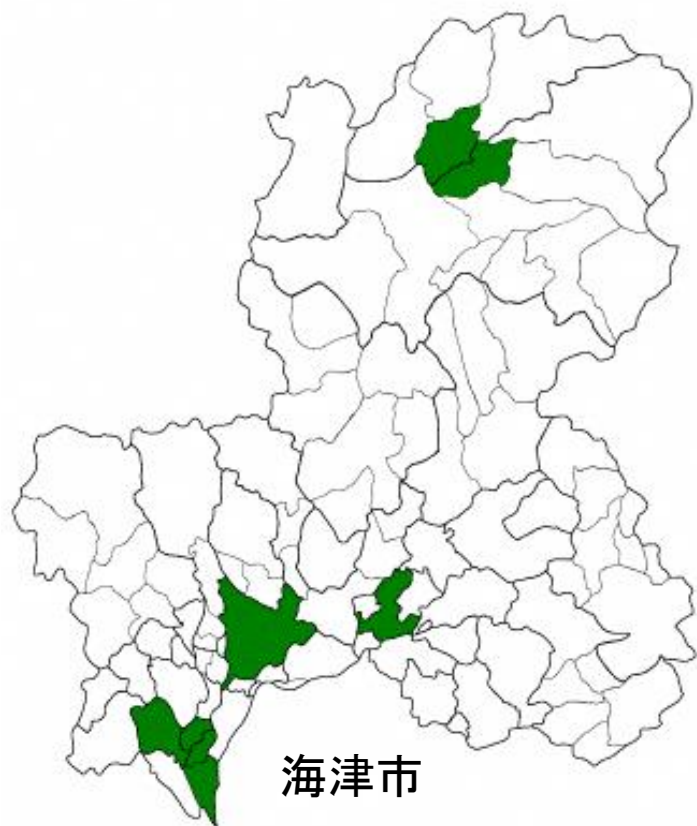


夜間ゼミ 野菜栽培の基礎

5. その他果菜類など

1) キュウリ (冬春)



岐阜県では、1年を通して栽培、出荷している。9月から6月頃に収穫する「冬春きゅうり」は、西濃、岐阜、中濃、可茂地域のビニールハウスで栽培されている。

夏に収穫する「夏秋きゅうり」は、県内各地で広く栽培されている。

1) 特徴

名 称:キュウリ

植物分類:ウリ科 1年草

原 産 地:インドのヒマラヤ山麓から
ネパール付近(亜熱帯)

利用部位:果菜類、未熟な果実

利用方法:生食、サラダ、漬物、酢のもの

主産地:群馬県、埼玉県、福島県、宮崎県
岐阜県では海津市



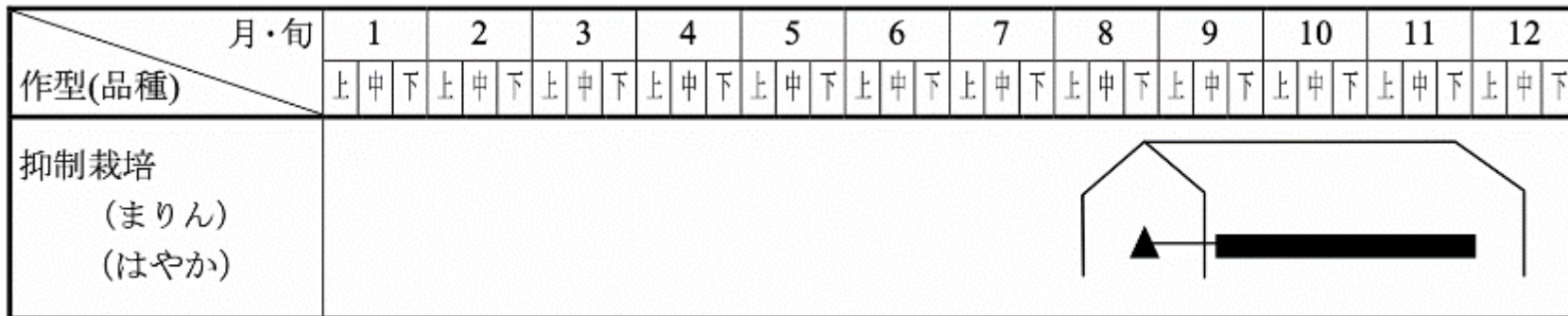
海津市のキュウリハウス

- 世界で栽培されており、さまざまな形や大きさとで利用されている。
- 果実の95%以上は水分で、特有の香りや苦味がある。
- やや高温を好み、低温では生育が悪い。
- トマトほどではないが光を好み、光が不足すると収量や品質が悪い。
- キュウリの根は、浅い場所に張るので、乾燥に弱い。
- 生育が早く、高温時は収穫量も多く、朝晩と収穫する必要がある。

2) キュウリの栽培方法

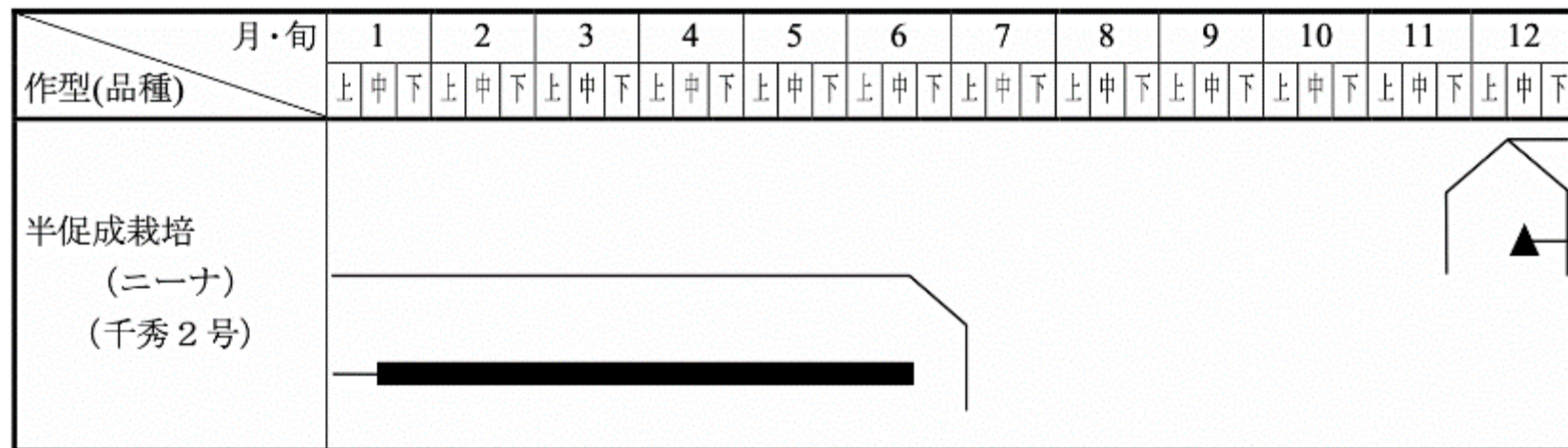
岐阜県では、温暖な平坦地域で秋から春にかけて栽培を行っている。

① 抑制栽培



○ : は種 ▲ : 定植 ■ : 収穫 ㄩ : ハウス

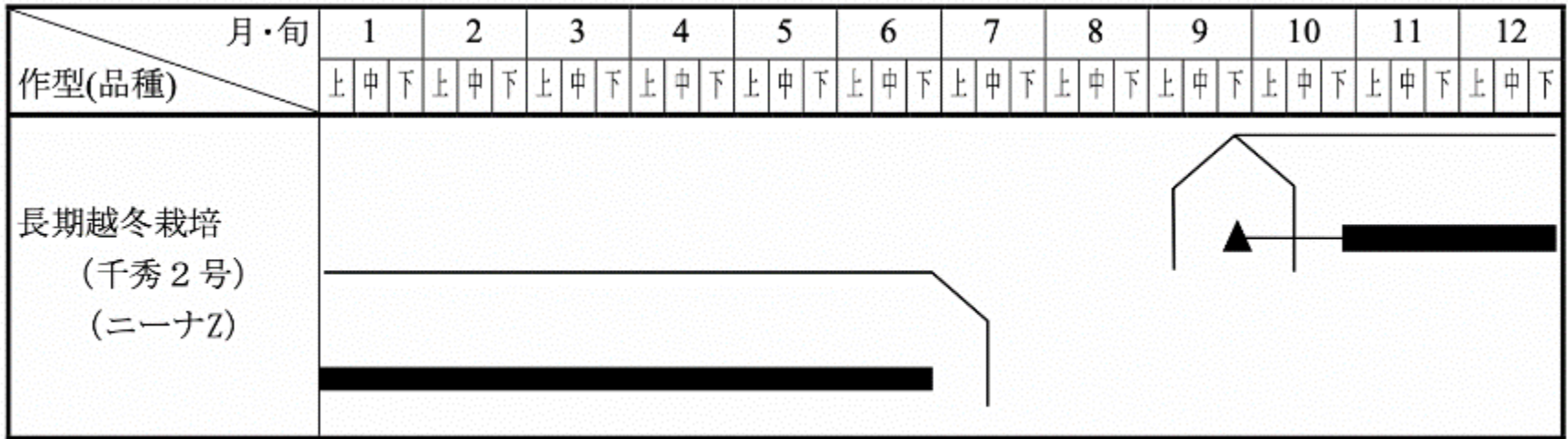
② 半促成栽培



○ : 播種 ▲ : 定植 ■ : 収穫 ㄩ : ハウス

同じハウスで栽培

③ 長期越冬栽培（長期作）



○：は種 ▲：定植 ■：収穫 𠔁：ハウス

抑制と半促成を1つにした作型

メリット：

切り替わる時期がないため、収穫が途切れることなく栽培を続けることができる。また、苗代も少なくできる。

デメリット：

栽培管理が難しく、キュウリの樹づくりに注意する必要がある。



暖房効果の高いハウス

2) ナス (夏秋)



岐阜県では、東濃、中濃、西濃から飛騨地域まで広く栽培されている。7月から10月の月上旬に多く出回る夏秋ナス栽培が中心となっている。

①特徴

名 称:ナス

植物分類:ナス科 1年草

原 産 地:インド

利用部位:果菜類、未熟な果実

利用方法:漬物、煮物、揚げ物、
焼きナスなど

主産地:高知県、福岡県、熊本県、
群馬県、岐阜県では中濃から東濃



②生育と環境

温度:比較的高い温度を好む、温度が低いと正常な花がさかず、実も大きくならない。

光 :強い光を好む、光が不足すると病気に弱くなったり、花がさかず、良いナスができない。

土と水:乾燥に弱く、水を多く必要とする。また、たくさん肥料が必要となる。

②栽培管理

品種：岐阜県では、千両二号と筑陽を主に栽培している。

苗：接ぎ木苗を購入し使用する

接ぎ木苗

土壌病害(土で感染する恐ろしい病気)の青枯病、半身いちょう病などを防ぐため、接ぎ木苗を使用する。台木(根の部分)の種類によって病気の強弱があるため、発生している病気により台木の選択を行う。



接ぎ木苗

土壌病害

土壌病害とは、土の中にひそんでいる微生物の中に植物にとって害をおよぼす菌が存在しているが、ナス栽培においては、その悪い菌が増え全滅するほどの害をおよぼすことがある。そのために接ぎ木苗を使用するが、それだけでは抑えられないため土を使わない栽培方法が導入され始めている。



岐阜県が開発した3Sシステム

畑の準備 : 生育期間が長いため、多くの養分を必要とする。

苗の植付け: 寒さには弱いため、霜の被害がなくなってから行う。

早く植付けを行う場合は、ビニールを使って、保温ができるように準備をしてから行う。

整枝: ナスは、枝を規則正しく伸ばして栽培を行う。葉に光がまんべんなくあたるように行う。

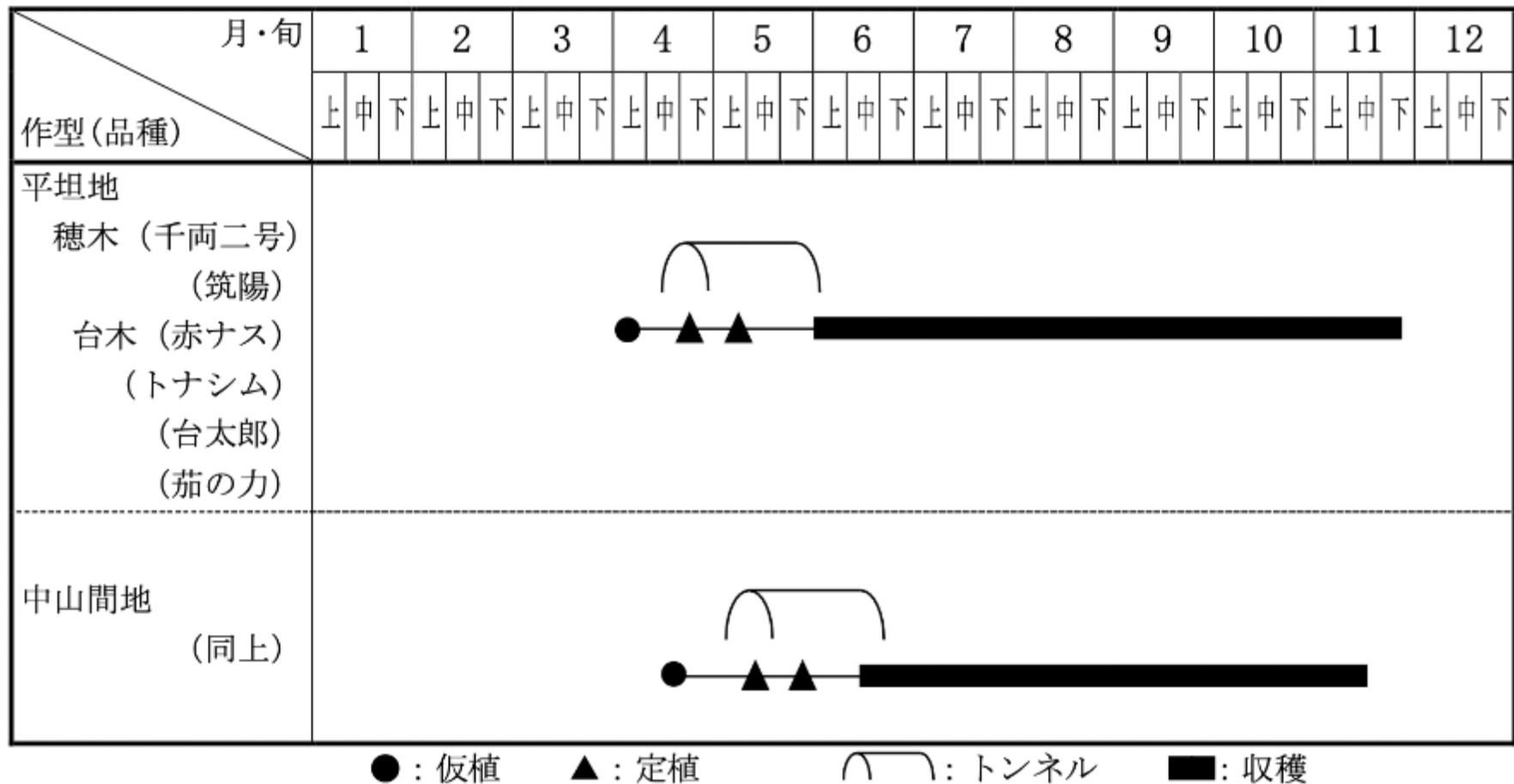


仕立て方法(V字)

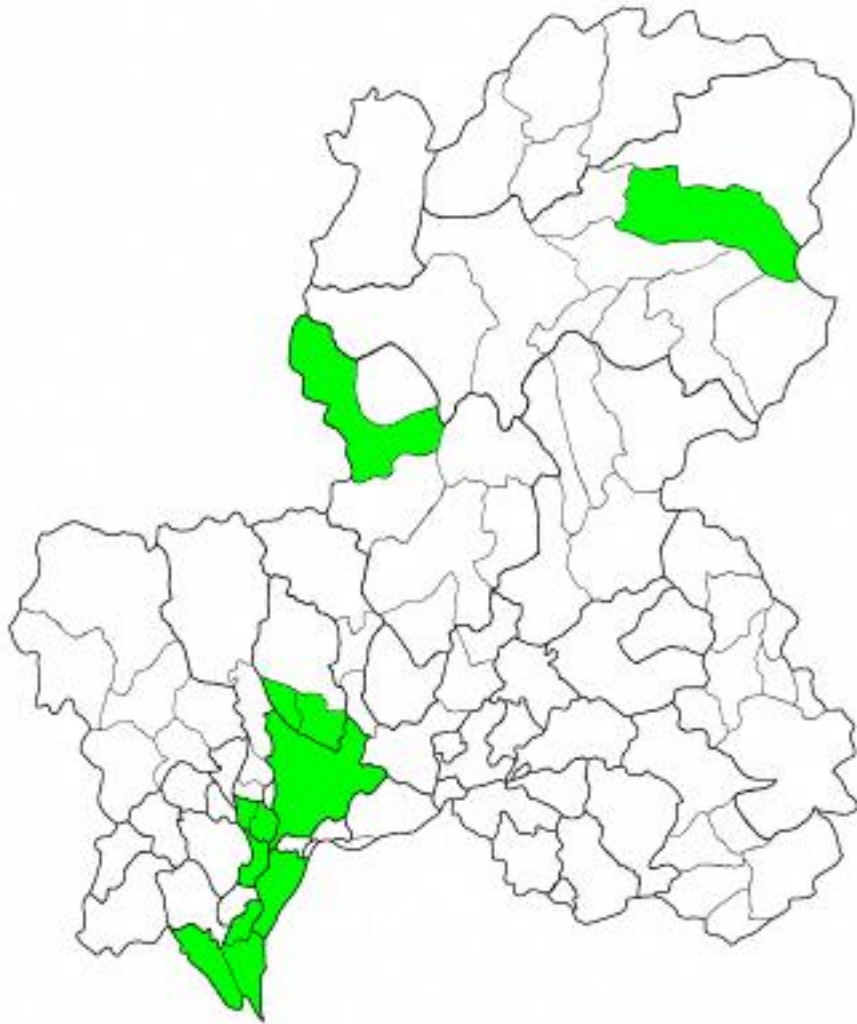


光がまんべんなく下の葉まで当たるよう仕立てる

2) 作型 (夏秋ナス)



3) エダマメ (春から秋)



岐阜県では、岐阜市の長良川流域を中心に5月から11月までの間出荷されている。5月はハウス、次にトンネル栽培、夏の7月中旬頃からは、防虫ネットで覆い、えだまめが作られる。

ぎふエダマメは、品質が高く、関西や中京地域で高く評価されている。

①植物としての特徴

エダマメは、大豆を未成熟の青いさやの状態に収穫して食用にするもので、エダマメという植物はない。大豆＝穀物、エダマメ＝野菜に分類される。ただし、使用目的により適応した品種があるため、未成熟で食用されるエダマメ専用の品種が開発され使用されている。

ア 形態的特性

名 称：大豆

科 名：マメ科

原産地：東アジア

適 地：温帯地域（1年草植物）



岐阜市内の川沿いにある水はけのよい畑

イ 生態的特性

- 適温は、昼温 25～28℃、夜温 15℃
- 短日植物（現在の品種は日長と関係ない）
- 日射量は、強日射を好む（光合成の光飽和点7万1x）
- 土質は、特に選ばない。中性から弱酸性を好む
- 根は、深いところに根圏が及ぶ

エダマメの作型

ハウス・トンネル栽培



トンネル栽培

月・旬		1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
ハウス	福だるま																																				
	S-201																																				

○：は種 △：定植 ：収穫

普通栽培



普通栽培(防虫ネット)

月・旬		1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
中生	えぞみどり																																				
後期作型	青豊																																				

○：は種 ：収穫